

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

JGAP認証(取得済)を通じて、食品安全・環境保全・労働安全に関する法令等を遵守しつつ、生産工程の管理や改善を繰り返し行う“良い農業の取組”を続ける事で、農業生産活動の持続性を確保し、安心・安全な畜産物を提供する事を通じて、社会に貢献する企業を目指します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	牛糞堆肥の生産量・品質の維持に努め、耕畜連携を推進する	項目	牛糞堆肥生産量
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		500t	500t
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	エネルギー使用量を削減する (照明器具の全LED化)	項目	施設内LED率
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		80%	100%
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	生産規模を維持しつつ、付加価値(JGAP、SDGs、飼料国産化など)による新たな販売先確保を模索し1頭あたりの利益率の向上を目指す	項目	出荷1頭あたり利益
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		▲4 (千円)	20 (千円)

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。前期と同じ取組みの場合は、現状の数値と下記の前期実績が一致しているかをご確認ください。

<パートナーシップ>

JGAP取得については、県畜産課、上益城地域振興局、中央家畜保健衛生所、肥後開拓農協とチームを作り連携を行いました。今後耕畜連携などに関し、引き続き行政機関や関係団体等と連携して進めていきます。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	飼料の国産の割合を増やす 前期配合飼料(国産15%)＋粗飼料を地元産TMR(国産80%)へ置き換え	国産飼料割合目標 2021年25%→2024年40%
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	検討していた業者のTMRが肥育牛向けの物はいまだ開発途中であり、かつ安定した供給量を見込めなかったため導入を見送ったため未達成となった。	国産飼料割合 2024年25%
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	エネルギー使用量の削減 (照明器具の全LED化)	施設内LED率 2021年50%→2024年100% 消費電力40%減
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	人員不足によりLED交換作業が遅れた為、未達成となった。	施設内LED率 2024年80% 消費電力(量)26%減
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	生産規模を維持しつつ、付加価値(JGAP、SDGs、飼料国産化など)による新たな販売先確保を模索し1頭あたりの利益率の向上を目指す	年間出荷頭数(170頭)維持 出荷1頭あたり利益＋60千円
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	飼料国産化、新たな販売先確保(生協など)を模索したが交渉が難航し断念した。また、為替や穀物不作等により生産コストが跳ね上がったものの価格転嫁が進まず未達成となった。	年間出荷頭数 183頭 出荷1頭あたり利益▲76千円 (3年間平均)

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、前期の重点的な取組みの実施状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。

※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。